

# 春

# 迎

2011年  
平成23年



那珂川町長  
大金 伊一

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様には、ご家族  
おそろいで健やかに新春を  
お迎えのこととお慶び申し上  
げます。

さて、昨年の当町の出来事  
を振り返ってみますと、四月  
には馬頭地区の東部三小学校  
を統合し、馬頭東小学校が開  
校しました。また、小川地区  
の三保育園を統合し、わかあ  
ゆ保育園が開園しました。廃  
校、廃園となった地域の皆様  
には一抹の寂しさを禁じえな  
いところとご推察申し上げます。  
少子化の時代にあつてや  
むを得ない流れではありますが  
が、転じて、子どもたちが多  
くの友達とふれあいそのコ

ミュニケーション能力を高め、  
新たな伝統を築きつつ成長し  
てくれることを期待するもの  
です。

十月には合併五周年を祝い、  
記念式典を行い、席上、町の  
イメージキャラクター「なか  
ちゃん」と、ケーブルテレビ  
の愛称「なかテレビ」及びそ  
のロゴマークを発表いたしま  
した。「なかちゃん」は、一昨  
年の子ども議会での提案に端  
を発し誕生しました。那珂川  
町民のアイドル、シンボルと  
して、町のPRなどに活躍し  
てくれるでしょう。

また、同月から新しい公共  
交通システムとして、デマン  
ドタクシー「なかちゃん号」



那珂川町議会議長  
川上 要一

新年明けましておめでとう  
ございます。町民の皆様にお  
かれましては、健やかに新年  
を迎えられましたことと心か  
らお慶び申し上げます。また  
皆様には、日ごろより議会に  
対しまして温かいご理解とご  
協力を頂き、厚く御礼を申し  
上げます。

さて、平成二十二年度を振り  
返って見ますと、世界的な地  
球温暖化によると見られる異  
常気象、連日三十五度以上を  
記録した猛暑、これまで記録  
したことのないような集中ゲ  
リラ豪雨が各地を襲いました。  
農業関係では、牛の口蹄疫が  
猛威を振るい発生地全域での  
殺処分という大変な対策の中

で、やつと鎮静化が図られま  
した。一方、すばらしい出来  
事もいくつかありました。南  
米チリでの炭鉱落盤事故で残  
された作業員三十三名全員が  
700メートルの地底より奇  
跡の生還が図られ、実況放映  
で全世界が感動させられまし  
た。また、日本の小惑星探査  
衛星「はやぶさ」が数々のト  
ラブルを克服し、七年ぶりに  
人類史上初めての貴重な資料  
を抱えて奇跡の帰還を果たし  
たことは、世界のトップニュ  
ースとしても取り上げられま  
した。

国政においては、一昨 years  
り民主党を中心とした新政府  
による国政運営が行われてい

が発進しました。

一方、福祉向上や環境保全、  
地域おこしなどの分野におい  
ては、NPO法人や各種団体  
の皆様が主体となった活動が  
活発に行われました。また、  
商工会、観光協会もひとつと  
なり体制強化も図られました。  
那珂川町が有する人、自然、  
歴史・文化、環境、特産品等  
貴重な資源がさらに輝きを放  
つよう、みんなの知恵と行動  
によって協働のまちづくりが  
推進されるものと確信してお  
ります。

町は、現在平成二十三年度  
から五年間の総合振興計画後  
期基本計画を策定しています。  
国及び地方とも厳しい財政運  
営を余儀なくされております  
が、当町といたしましては財  
政の健全化を図り、人件費の  
抑制や施設の統廃合等に取り  
組み、限られた財源を効率よ  
く、かつ、効果的に活用する  
よう、選択と集中を徹底して  
いかなければなりません。

私が町長に就任して一年が  
経過いたしました。「地域を  
元気にするまちづくり」「安  
全と安心のまちづくり」「命  
が輝くまちづくり」「楽しく

ますが、鳩山政権においては、  
重いマニフェストを背負い、  
米軍基地移転問題、政治と金  
の問題等々が物議をかもしま  
した。後を引き継いだ菅政権  
においても、中国などの外  
交交渉の不適切な対応や党内  
部の抗争により、国民の支持  
率は急降下し、不安定な国政  
の運営が続けられており、今  
後が心配されるどころです。  
このような中、景気回復基調  
にあった経済情勢は、EU諸  
国の経済金融破綻やアメリカ  
の経済不況による円高で、回  
復基調が一転して厳しい状況  
に陥り、今春卒業の高校生、  
大学生の就職内定状況も非常  
に厳しいものになりました。  
さらに地方においても、自治  
体が頼みの綱としていた企業  
が撤退に追い込まれるなど、  
雇用情勢が大変な状況にあり  
ます。

さて、那珂川町を取り巻く  
情勢は、合併して五周年を迎  
え、種々施策により、町民間  
の融和も図られ、那珂川町民  
として自覚が持てた年ではな  
いでしょうか。また、議会に  
おいても、十二月定例会にお  
いて、長年の懸案事項であり

学ぶまちづくり」「自然にや  
さしい環境のまちづくり」  
「町民といっしょに考えるま  
ちづくり」の六つの基本方針  
の下、町のブランド開発、積  
極的な企業誘致などの諸施策  
に取り組んでまいります。ま  
た、昨年十二月定例会におい  
て、「県営最終処分場建設及  
び地域振興の促進に関する決  
議」がなされましたが、今後、  
誠心誠意問題解決に向けて取  
り組んでまいります。

これからも笑顔のある明る  
いまちづくりにまい進する所  
存でありますので、なお一層  
のご支援ご協力をお願い申し  
上げます。

年のはじめにあたり、皆様  
のご多幸とご健勝を心からお  
祈り申し上げ、新年のごあい  
さつといたします。



ました不法投棄物を処理する  
ための県営管理型最終処分場  
建設と受入れを契機とした地  
域振興の促進に関する決議が  
されました。今後一日も早い  
事業計画の推進と地域の振興  
が図られることを強く望むも  
のであります。

国の財政はもちろん、町財  
政も非常に厳しい中、町政運  
営も多難であり、舵取りも大  
変難しいところではありますが、  
町民の皆さんが安心安全に、  
明るく楽しく暮らせる町づく  
りをいかに進めていくかが、  
これからの大きな課題であり  
ます。「自分たちの町は自分  
たちですばらしい住みよい町  
に」という地方分権の趣旨の  
もと、町行政と町民の皆さん、  
そして議会が互いに協力し  
合つての「協働」による町づ  
くり、それこそが困難を乗り越  
越えて那珂川町の未来を切り  
開く、魅力ある町づくりの大  
きな方策と確信いたします。  
結びに、新しい年が皆様にと  
つて、すばらしい年になり  
ますよう、ご祈念を申し上げます。  
新年のごあいさつといたしま  
す。